

食用きのこ



ハタケシメジ

秋、ときに初夏、庭地や畑、路傍、草地、林道のへりなどに点々と、あるいは株状になって群生する。どんな料理にもよく合う。

特徴

傘：径4～9cm、表面は灰褐色。
ひだ：灰白色で柄に直生状垂生、ときに湾生、密。
柄：白色～帯褐灰色で繊維質で中実。

毒きのこ



クサウラベニタケ

広葉樹林内の地上に群生する食中毒事例の多い毒きのこ。地味な色や形をしており、ホンシメジやハタケシメジと間違えやすい。誤食すると下痢、おう吐、腹痛などを起こす。

特徴

傘：径3～8cm、ねずみ色～灰褐色、乾くと絹状の光沢がある。
ひだ：白色から肉色に変わり、やや密。
柄：白く、中空でもろい。

※平成元年、札幌市内で路上販売されたクサウラベニタケを食べ、13名が頭痛、おう吐、下痢などの症状を呈する食中毒が起きた。

